

# Readers' Voice

このコーナーでは  
前号のアンケートや  
投書箱に寄せられた声を紹介していきます

## ○ RJ第79号(2012年11月発行)アンケート結果

Q1 プチ濃! 廃道あるき 第五回  
三峯道(大達原~強石)(by ヨツキれん)

5 おもしろかった・役に立った	11
4 ↑	2
3 ふつう	1
2 ↓	0
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	4.8

とうとう冬になってしまいました。皆さんの地域ではいかがですか? 関西でもあちこちで雪景色が出現しています(さすがに、編集部事務局の周りは積もってませんが)。オフシーズンに突入しますが、廃道を楽しむ手段は幾らでもありますよ~! タイミングよく、そんな楽しみ方の一例になりそうな「行ってきました!」投稿をいただきました。特設ページを設けてますので、ぜひご覧ください。い。(受)

※アンケートは15日PM6:00時点の結果です。

## みなさんのコメント

遠景の双耳山の頂き部分の形がかなり違っているようですが、片耳は切削されたのでしょうか?

ある意味シンクロニシティですね。「蛇の道は~」ではなくて「同じ穴の~」ではなくて、『廃道はオプロードに訊け』というところでしょうか。

大変楽しかったです。絵葉書の溝は軌条だったんですね。その歴史的な経緯が面白いです!

数年前探索の記憶と写真で結論を導き出せる、流石ですな。私も現大達原隧道に違いないと思い行ってきたのですが隧道付近法面工事中で写真も撮れずに退散しました。路面の軌条ですが、左側の溝ではなく右側の線ではないのでしょうか。

「大滝村史」と「雁坂トンネルと秩父往還」を基に以下の情報を提供します。

P07 地方交付税に頼らなかったのではなく、村有林を財産と見做され交付を止められただけです。(雁坂)

P68 碑文の欠字(村史)

- 02 車馬『通せず』行旅其の難を訴え
- 03 縣會議員堤新『六等』  
村民と『胥』謀り
- 04 副會長黒『澤』勝郎
- 05 岡田忠彦『此』の『請を納れて』
- 09 考慮『する所』
- 10 両社『欣然』  
醸出『したり』是『に於て』
- 12 『蓋』村民  
両會社の贊『裏』と『此の』三者相須『つにあ  
らされ』
- 13 得『さるへし抑忝』三峯大神  
及ぶ所あ『りしか』

14 始『末を石』に刻せん  
其の梗『概』を『物し以て』之を後に『傳ふ也  
云爾』

P76 二瀬～川又間の軌道は発電所完成後、県道並の道路に改良するという条件で地主が土地を無償提供し敷設された。しかし、約束が履行されず昭和二年地主が提訴。昭和五年和解し奥秩父運輸組合が結成され村内の全軌道を運営した。S6-S19の間だけで、村や学校、その他団体へ28,000円余りを納入・寄付しているので経営は順調だった模様。(村史)

廃止時期 強石～宮平 昭和七年  
宮平～二瀬 昭和二十二年

[編] 詳しい情報提供ありがとうございます～。筆者に代わってお礼申し上げます!(受)

[編] マース!(ジ)

## Q2 ミニたんさく 能勢電鉄旧線 (by nagajis)

5 おもしろかった・役に立った	6
4 ↑	2
3 ふつう	0
2 ↓	0
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	4.8

### みなさんのコメント

もう殆ど林道の旧道(?)のような旧線跡ですね。鬱蒼とした山林の中といった景観なので、開通当初の小さな軽便電車だと、のどかと言うよりは物寂しかったのかな、などと空想しました。

[編] 新興住宅地がなかった頃は、笹部の辺りから終点妙見口まであのような谷が続いていたわけで、さぞ寂しい車窓風景だったろうと想像します。よう作ったものですね。(な)

懐かしかったです。

[編] 楽しんでいただけましたか? (受)

[編] はてこのコメント、換線前の能勢電にお乗りになったことがある方なのか、廃線跡を歩いたことがおありなのか、それともそれ以外なのか、判断に悩みますな……。 (な)

## Q3 勝手に近遺調月報 2012.11. (by nagajis)

5 おもしろかった・役に立った	3
4 ↑	2
3 ふつう	0
2 ↓	0
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	4.6

### みなさんのコメント

うまく纏めてありまして、良かったと思いますー(キダ・タロー風)。生意気言うようですが、このシリーズが始まってからnagajis氏の文章に幅というか、以前とは異なる“味”が出てきたように感じます。

[編] やった! 誉められたぞ! ドヤア受付! (な)

[編] たった一度きりの誉め言葉で浮かれるなんて…よほど… (受)

[編] カコワルイ! (ジ)

#### Q4 東熊野街道Odyssey異聞 大綱木馬道 (by nagajis)

5 おもしろかった・役に立った	7
4 ↑	0
3 ふつう	0
2 ↓	0
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	5

#### みなさんのコメント

自然と地場産業と立地とが織り成す一大スペクタクルでしたね。記事に力が入るのも判ります。画像もふんだんに用いられていたのが俄然楽しめました。もしかしてノリは“荒木飛呂彦”調？（違ってたらスルーしてください）

[編] JoJoFont(Bizareadventure-Regular) を使わせてもらいました！（受）

滝が見える木馬道。しかも隧道付きなんて、とっても優良物件！少し整備して、ハイキングコースにできないものでしょうかね。よい道は有効活用すべきです。紅葉もすばらしいですしね。

[編] 木馬道の典型例と太字書きして調査票をあげておきました。何かに使ってもらえたらいいですね。（な）

#### Q5 Readers' voice

5 おもしろかった・役に立った	0
4 ↑	1
3 ふつう	0
2 ↓	0
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	4

#### Q6 総合評価

5 おもしろかった・役に立った	3
4 ↑	3
3 ふつう	1
2 ↓	0
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	4.3

Readers' Voice

Q7 今号で印象に残った記事を教えてください（いくつでも選択可）。

プ子濃！廃道あるき 三峯道	3
能勢電鉄旧線	2
近遺調月報 2012.11.	2
東熊野街道Odyssey異聞	5
Readers' voice	0
REAR TYRE	0
その他	0

### みなさんのコメント

天竜の記事と引き換えに前情報を頂き、遅らせながらお礼申し上げます。自分が11月上旬に訪問した時は大崩落の所で引き返しましたが、あと少しだったようですね。その日泊った民宿のおばちゃんに川の奥の木馬道に行ってきたよと話したら、それは知らなかったけど大滝の車屋の裏に小さい頃木馬が降りてきていたねえと話がはずんでたのしかったです。やはり大小無数の木馬道がまだありそうですね。

[編] おお、行かれましたか。いいところですよえ川上村は。宿にお泊まりになったというのは良いことですね、自分はいつも野宿か日帰り（よくて杉の湯に入って道の駅でカレーうど

んを食べて帰る程度）ですので、それに比べてとても地元に貢献されていると思います。

次回、余裕があれば大津古谷の木馬道も書きたいと思います。何度も訪れて調べた割に収穫が少なかったので、面白い記事にはならないかも知れませんが。

[編] とかいつて、結局書かないのよね… (受)

[編] いろいろあってのう、ゴホゴホ (な)

Q8 ご意見承ります。

中央道のトンネルが崩落しましたね。

構造の問題、劣化、さまざまな原因があるかと思いますが廃道を数多見てきた経験上、ORJ的視点で解析できる部分もあるのでははないでしょうか。

専門家の意見もいいですが、ORJもメディアの一種。社会に情報を発信してほしい！（廃じゃないからダメかな？）


[編] うーん。自分の目で見ると、データ貰うかしないと、ただの想像説になってしまいそうですが、打音検査はレガシーな検査方法だけどとっても有効なものなので、それをしてなかったというのは落ち度じゃね？ とは思います。(な)


[編] メンテされなくなったトンネルって、加速度的に劣化しますものね。照明のカバーが落っこちてたり…… (受)

[編] 日々の点検と補修のお陰で維持されてるんですよ。(な)

★行ってきました！ (by kiyokimiさん) ★



 さあて、今回kiyokimiさんが行ってくださったのは…

 コノ『数馬の石門』！ 今年10月ノ『セピア色のポートレート』テ紹介シタ絵葉書ノ場所ダヨ！



数馬の石道、ではなくて\*、キャプション通り数馬の石門で調べたら白丸隧道の旧々道に当たる江戸時代の切通しに当たりました（現存しているようです）。切通しの名をタイトルにした絵葉書が隧道、とゆうことで大正5年竣工の数馬隧道で間違いないでしょう。写真と現状の違いは遊歩道整備で舗装とガードレールが整備されたくらいです。隧道自体は見た目には変化なさそうです。

👉 \*ソウダッタ……kiyokimiサンガ間違イダッテ指摘シテクレタンダッタ…。



外から見るとこんな隧道です。現道の白丸隧道が1973年開通なのでそれまで本道として使われていたんですね。



大正5年（1916）竣工だから、57年間主役を張ってたわけね。今でも残っているのは偉い！







折角なので白雲洞跡にも行ってきました。3ページと同じ場所のはず…ですが、あまりにも変わりすぎて隧道跡とは思えません。

(👉) Oh、ハクウンドーモ。スツカリ無クナッチャツテマスナ。(絵葉書ハポップアップデ確認シテネ！)



逆光除けでかなり強引ですいません。道は拡幅され橋は架替られ5ページと同じ場所に見えません。

 こちらは残念でしたね。でも、私たちのかわりに行ってくださってありがとうございました！ 道の今昔がわかって参考になりました〜♡

 kiyokimiサンカラハ誤植ノゴ指摘モ（マタ）イタダキマシタ……。ゴメンナサーイ、直シテオキマス（汗

# Readers' Voice

この記事の感想をお聞かせください。

公式サイトアンケートのほか、下記フォームからお送りいただくこともできます。みなさまのご意見、お待ちしております！

## 1. この記事はいかがでしたか？

←つまらない・役に立たない    ふつう    おもしろい・役に立つ→

1                                  2                                  3                                  4                                  5

## 2. コメントをどうぞ！

(空欄でも結構です。内容は「日本の廃道」公式サイトや本誌で公開する場合があります。公開を希望されない場合は「公開不可」にチェックを。)

公開不可

次号発行まで保留